

自治 温故創新

考える
思いやる
やりぬく

まごころ

学校便り 12月号
令和5年12月25日
西東京市立田無第三中学校

2学期終了

校長 東山 信彦

8月のスタートアップ面談から始まった今学期、生徒会選挙・総会・1年生校外学習・3年生修学旅行・全校合唱コンクールそして2年生校外学習と、大きな行事を体験しながら、あっという間に本日を迎えています。その間に、生徒会選挙・生徒総会も行われ、三中の世代交代も着々と進んできました。先週の生徒朝礼では、全校朝礼に次いで、予定開始時間の3分前に、粛々と朝礼が始まりました。「三中生はまず『あ・じ・み』』と言い続けてきましたが、三中自慢の「挨拶」に次いで、「時間」についても自分たちの手でコントロールできるようになっています。8月・11月・12月と全校面談を行いました。その中で、担任より成長の姿を認めてもらえた生徒もたくさんいたのではないかと思います。

最上級生の3年生の安定した姿はもちろんのこと、この2学期ではここに来て2年生の成長が印象的でした。代替わりをして、様々な場面で表に立つ機会が多くなったことあるのですが、最近の2点の出来事からそう感じました。

1点目が、12月の全校朝礼でも紹介した、道徳授業での取り組みです。11月はふれあい・いじめ防止月間であり、その取り組みが各学年で行われました。その中で、2年生は「いじめ」について新しい授業に取り組みました。それこそ、半世紀以上前の「弱い者いじめ」から「言葉の暴力」「無視の暴力」「いじり」「SNSいじめ」にいたる、まさに多岐にわたるいじめを、「シンキングエラー」と「アンバランス（パワー）」の2軸でとらえ直す試みです。「シンキングエラー」とは、いわゆる相手の気持ちを自分も同じように感じたり、理解したりすることができず、「あれはいじめではない、遊びだ。」「相手が昔〇〇したから、される方にも問題がある。」と正当化し、「自分がいじめをしている」という認識をもつことができないことです。「アンバランス（パワー）」とは、1対複数のように力の不均衡ができ、助けを求めづらい状況になることです。この2つを防ぐカギは、自分を客観視する「論理的思考力」や他者の考えも取り入れながら考える「ケア的思考力」にあると考えます。この2つは、まさに中学2年生に伸びる力です。

そこで、「思考力」に係る授業を私なりに構想してみました。

それが2点目のできごとです。12月になって私は2年生の国語の授業に御邪魔して、

2時間の「思考を広め・深める授業」を行いました。思考を広げ・深めるスキル学習のあと、2人、もしくは4人で様々なテーマで思考訓練を行いました。私が用意したテーマは30種、身近な「授業中の楽しみは何か？」から始まって『やさしい』と『あまい』はどう違うのか？』と広がり、「みんなが幸せな国ってどんな国か」まで、多岐に及んでいます。その中で生徒が思い思いにテーマを選択し、自分の考えと理由を構築し、仲間からの



質問に答えながら議論していくのですが、驚いたのは、そのテーマの選択状況でした。多くの生徒が、自分直近ではなくより広い社会的なテーマを選択していました。そして、話し合いの前に、まず「例えば?」「こうすればどう?」「もし…」「でも…」等と、学習した「問いことば」を使って、自分の考えを客観的に検討し、話し合いが始まれば、相手の問いや意見を取り入れながら、自分の考えを粘り強く話していました。

私も、いくつかのグループの話し合いに参加しましたが、受け応えの確かさと柔軟さに、ひそかに舌を巻いていました。3年生は別格として、まだ幼さが残り、自分が見えているものは他人も同じように見えているというような、自己中心の状態を引きずっているように思っていた生徒達が、そこから脱し、他者視点を手に入れ、自分のものの見方や考え方を客観視できるようになってきているのだと、認識を改めた時間でした。

本校では、一昨年度より、全教科で「集団思考」を取り入れた授業を研究・実践しています。コロナ禍の中、話し合い自体ができない状況下が続きましたが、ここに来て、少しずつその成果が、出てきているのかもしれませんが、まさに、「シンキングエラー」と「アンバランス (パワー)」の授業も、日頃の生徒の姿から、そんな生徒の成長を認めていた先生方の時宜を得たタイミングでの授業だったのかもしれませんが。

もちろん、成長著しい1年生にもすでにこの「第3者視点」を身に付けた生徒はたくさんいると思います。1年生なりの「考える・思いやる・やりぬく」姿勢がどんなふうに体現されるか、今から3学期のスキー移動教室が楽しみです。

3学期は、ホップ・ステップ・ジャンプの学期となります。今までの学びをさらに発展させ、師弟同行で「温故創新」新しい三中を創り続けてまいります。



○三中生の活躍

バドミントン部

第8・10・11ブロック新人戦
男子団体 第5位

書道部

全国書画展覧会書の部
特選
金賞

東京都読書感想文コンクール

優秀賞

薬物乱用防止ポスター

会長賞

わくわく子ども縁日ボランティア

西東京市「歩け歩け会」ボランティア

クリーンデー&けやきフレンドパークボランティア

図書委員会 読書活動小中交流事業



本校では、今年度西東京市研究奨励校として、読書活動の充実に取り組んでいます。今学期は、その取り組みとして、ビブリオバトルを全校で実施しました。12月8日には、各クラスのチャンプ本をけやき小学校の皆さんに紹介すべく、図書委員会代表がチャンプ本12冊とともにけやき小学校を訪問し、副校長先生にお渡ししてきました。学校司書さんによると、早速多くの児童が手に取って、読んでくれているようです。